## テーブルの結合手順

北海道の2次メッシュベクタデータを使用します。

サンプルとしてデータベーステーブルを3個作成しました。…テーブル「A」・「B」・「C」 各テーブルにはメッシュの CODE フィールドと日本語フィールドが含まれています。

▼サンプルデータ:2nd\_mesh\_Hokkaido\_testdata.rvc



ポリゴン要素の右ボタンメニューから [Edit Relations] を開きます。

Ķ Database Editor : testdata / ポリゴンデータベース \_ × File Help Text Style. Colors 🗉 A New Table Combine Tables > 🗉 MeshCODE 🖌 🗆 B Validate. **-**€ Copy Table. Close -[File]>[Conbine Tables] を選びます。 K Combine tables Х Source Table 1 • A в **T** Table 2 Operation Union ▼ テーブルAとBを左の設定で結合します。 Attachment If either source record attached 💌 →テーブル [A B] を作成 Skip duplicate records Cancel ОΚ Help K Combine tables Х \_ Source 同じ設定でテーブルABとCを結合します。 Table 1 A B ▼ →テーブル [A\_B\_C] を作成 Table 2 С **\***| Operation Union • Attachment If either source record attached 💌 Skip duplicate records OK Cancel Help K A\_B\_C ¥ Polygon ¥ testdata Table Edit Record Field ] 🖌 ¹ ヘ ⁺ ヘ ⁻ ヘ ‰ 🝗 搏 🖼 🖩 😵 💣 💷 図名(よみ) 623906 デストデータ日本語A\_1 623912 デストデータ日本語A\_2 テーブル名 623913 テストデータ日本語A\_3 623922 テストデータ日本語A\_4 623923 テストデータ日本語A\_5 テーブル A B C が出来ました。 623927 テストデータ日本語A\_6 623937 テストデータ日本語A 7 合計レコード数は517レコードです。 624000 テストデータ日本語A\_8 624001 テストデータ日本語A\_9 624010 テストデータ日本語A\_10 624011 テストデータ日本語A\_11 624012 テストデータ日本語A\_12 624020 テストデータ日本語A\_13 624021 テストデータ日本語A\_14 624022 テストデータ日本語A\_15 624023 テストデータ日本語A\_16 624030 テストデータ日本語A\_17 624031 テストデータ日本語A 18 624032 テストデータ日本語A\_19 624033 テストデータ日本語A\_20 624040 テストデータ日本語A\_20 624041 テストデータ日本第A\_22 624042 テストデータ日本語A\_23 5 517 of 517 records shown

①最初に、A・B・Cのテーブルを縦に結合します。

②次に、テーブル A\_B\_C と MeshCODE テーブルを結合します。

以下の設定で処理を実行します。

🦎 Combir	ne tables	_		$\times$	
Source					Table1 には _A_B_C(「よみ」や漢字を含むテーブ
Table 1	A_B_C		<b>–</b>	]	Table2 には MeshCODE
Table 2	MeshCODE		-		を指定します。
Operation	Right outer	join 💌			
Attachment If either source record attached				ched 🗾	Right outer join を指定します。
🔲 Skip duj	olicate record	ls			
	0	к с	ancel	Help	

## 結果

テーブル「MeshCODE」の中の全てのレコードを含むテーブルが出来ました。

1158 レコード。

テーブル「A\_B\_C」には含まれていなかったレコードは CODE フィールド以外空欄です。



結果のベクタデータ: 2nd\_mesh\_Hokkaido\_Right\_outer\_join.rvc